

2026年8月27日

個人投資家様向け 会社説明会

高松機械工業株式会社
(証券コード：6155)

TAKAMAZ



目次

1

当社のご紹介

2

当社の取り組み

(参考資料)

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

当社のご紹介



■ 会社概要

お客様に最適な自動化生産ラインを提供する 工作機械メーカー **TAKAMAZ**

代表取締役社長

高松 宗一郎



創業

1948年
(創業78年)

本社所在地

**石川県
白山市**

株式

東証スタンダード
(証券コード：6155)

連結売上高

127億円
(2025年度実績)

連結従業員数

522名
(2026年6月末現在)

営業拠点

国内 **9**拠点
海外 **7**拠点
(2026年6月末現在)

会社概要

沿革

■ 1948

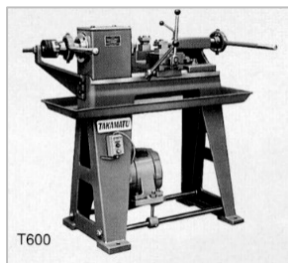
初代社長
高松喜一が個人創業



高松鉄工所創業

■ 1960

工作機械分野に進出



面取旋盤T600

■ 1961

高松機械工業株式会社
を設立



■ 1985

現在地に本社工場移転

■ 2001

店頭登録市場
に上場

自動車部品分野
に進出

■ 2002

I T 関連分野
に進出

■ 2006

東証二部に上場



■ 2018

高松宗一郎
社長就任

■ 2023

環境分野に進出



AI・B-sort

■ 2022

あさひ工場新設



当社のフラッグシップ・ファクトリー

東証スタンダード市場
に移行

事業内容

工作機械事業

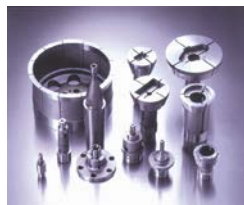
112億15百万円

事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



生産拠点

本社工場



あさひ工場



他 第2工場

I T 関連製造 装置事業

13億38百万円

事業内容

液晶基板や半導体などに関する製造装置の製造

生産拠点

開発センター



自動車部品 加工事業

1億68百万円

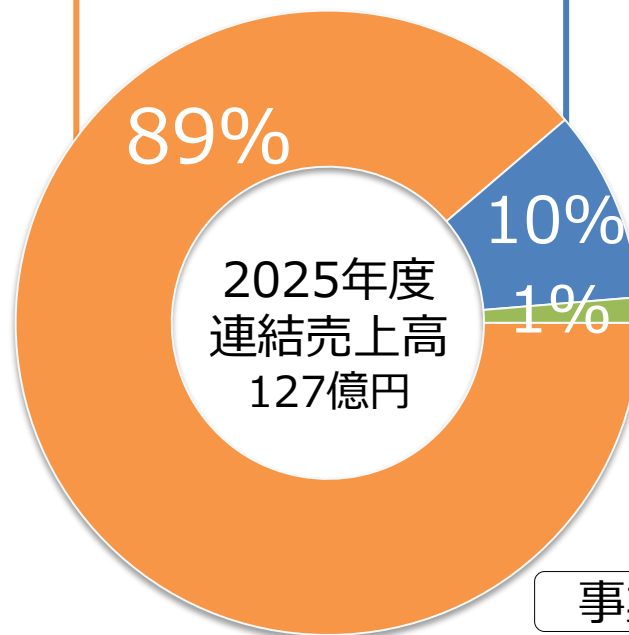
事業内容

自社製旋盤による
自動車部品の加工



生産拠点

第3工場



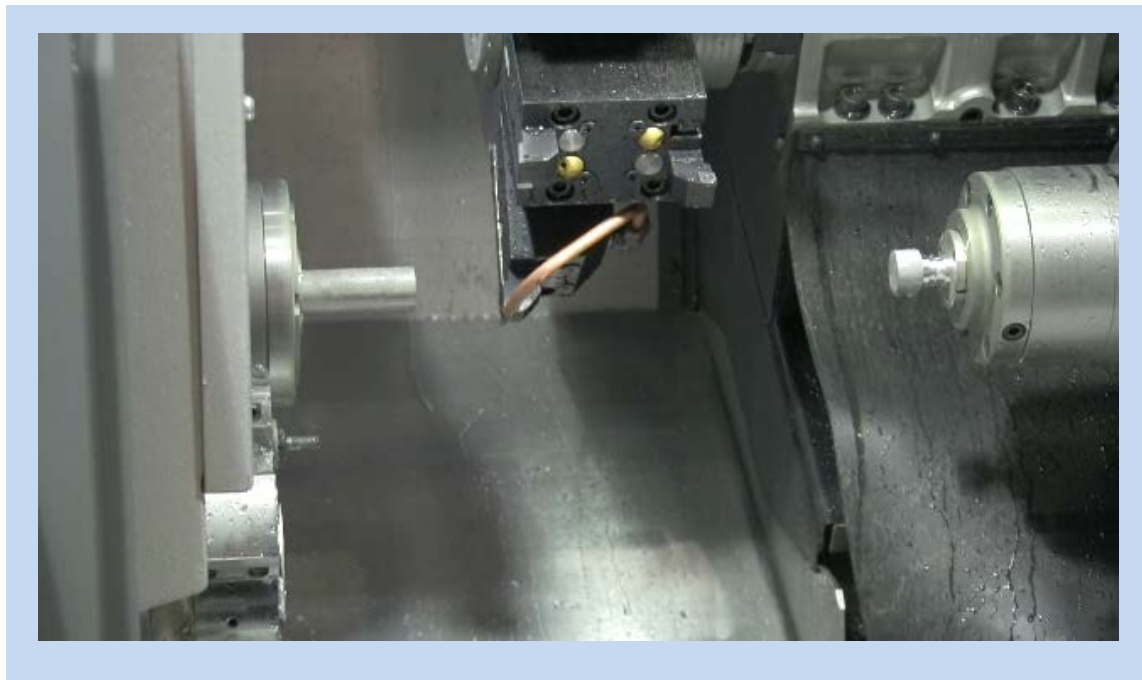
■ 工作機械とは



工作機械とは？

金属を所定の形や大きさに加工し、様々な製品の部品を作る機械。工作機械そのものも工作機械によって作られているため、「機械を作る機械」、あるいは「マザーマシン」と言われている。

■ C N C 旋盤とは



C N C 旋盤とは？（C N C: Computerized Numerical Control）

旋盤とは、加工物を回転させ、刃物で切削加工を行う工作機械の一種。

CNC旋盤は、旋盤の中でも、部品加工をコンピュータによって制御し、自動で加工する仕組みを搭載している機械のこと。

生活を支える当社の技術

当社の機械で加工された部品は、私たちの生活を支える様々なものに利用されています。

輸送機器関係

- 自動車用部品（EV・HEV含む）
- バイク部品
- 建設機械部品
- 自転車部品（電動含む） 等



ハイテク・航空宇宙関係

- 半導体製造装置の部品
- 航空・宇宙関係機材の部品 等



建築関係

- エレベーター部品
- ドアノブ部品
- 照明器具部品 等



配管・継手関係

- ガス機器部品
- 消火用配管部品
- 水道関係用部品 等



当社の強み

《お客様を取り巻く環境》

人手不足・人件費高騰

カーボンニュートラル

SDGs

DX、IoT

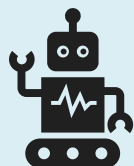
EV・HEV

現代のニーズに応える工作機械製品が求められる

TAKAMAZ の強み

自動化技術

自在なカスタマイズ性
人手不足・人件費高騰に対応



製品開発力

様々なニーズをとらえた機種の
開発（複合加工、地域性等）



高付加価値

現場の負担を軽減させる
「工程集約」の追求



➡ お客様のニーズに対応することで
高いリピート率を実現

強み① 自動化技術

豊富なノウハウと自動化装置群

- 早くから自動化に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

設計～製造まで一貫した生産体制

- 自動化装置・システムを自社で開発



ローダ



ストッカ



洗浄装置



チップコンベア



ロボット



計測装置



当社CNC旋盤



自動化装置群

強み② 製品開発力

様々なニーズをとらえた機種の開発

✓ 生産性の効率化を推進する機械の需要の高まり

⇒ 1台で完成品へ仕上げる複合加工機能を持った機種の開発！



【XTL-8シリーズ各機種】

回転工具や複数の加工軸を搭載するなど、ユーザーが実現したい複雑な加工に対応



【XYT-65Y】

最大φ65までのワークサイズに対応し、2タレット構造にてより広範囲な加工を可能とする最新機種

✓ 各地域の産業特性と働く人々のニーズの多様化

⇒ 地域の特性に見合った機種の開発！



【AT-1】

小型だが幅広い加工を可能とし、大型ディスプレイを搭載して使いやすさも追求した、アジア向け戦略機



タイの国際展示会（METALEX2025）における展示の様子

強み③ 高付加価値

現場の負担を軽減させる「工程集約」の追求

✓「工程間の移動」、「ワークのつかみ替え」は現場の負担

⇒「両端加工機能」を有する機械を開発し工程集約！



【XYT-51】 オプションで両端加工機能を付加可能



【XTL-8MYS】 標準機能として装備

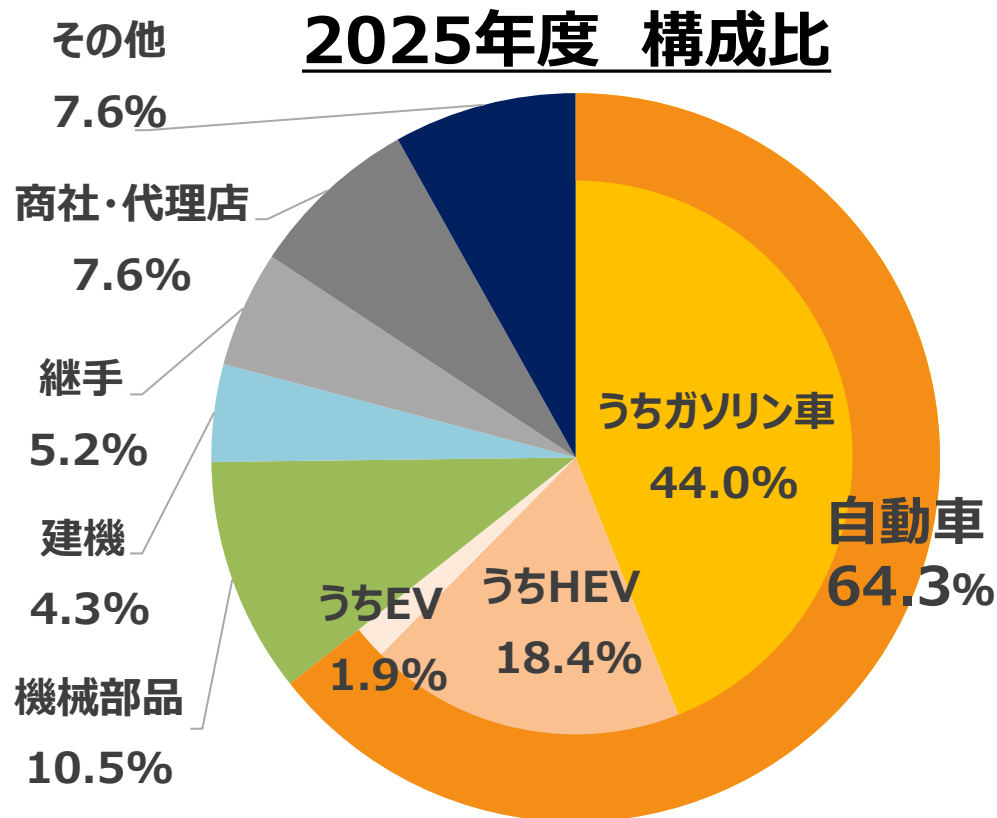


自動車や産業機械に使われる
シャフトの加工に大変重宝される
機能です！



両端加工機能による、切削加工の様子

■ 業種別受注先の状況（工作機械）



（注）受注高は、旋盤・改造機に限定しています。

当社製品をご使用いただいているお客様

自動車業界	・ TOYOTA	・ DENSO	・ 豊田自動織機
	・ いすゞ自動車	・ ジェイテクト	・ SUBARU
自動車業界以外	・ 川崎重工	・ SMC	・ ミネベアミツミ
			・ ヤンマー

2

当社の取り組み



■ 当社の取り組み

1. 持続的成長に向けて

- 中期計画2027による成長戦略の推進

2. MVV浸透による組織力強化

- MVVの浸透を通じて持続的成長を支える組織基盤を構築

3. 受注、売上、営業利益の拡大に向けて

- 販売、生産の好循環を生み出し、収益力を向上

4. 株主還元の充実化

- 安定配当と利益成長に応じた株主還元を推進

5. ESGの実現に向けて

- ESGに関する取り組みを継続的に推進

1. 持続的成長に向けて

「自動化技術×複合加工技術」でお客様のモノづくりを支え続ける
グローバル・ソリューション・カンパニーへ！

中期計画2027

経営基盤強化と成長戦略の実行による収益性の改善

黒字化体質の構築



全社バリューチェーン最適化をベースに各戦略を推進

収益基盤の強化



顧客価値向上と利益率向上を両立

グローバル戦略再構築



地域別の事業性を理解し戦略を再構築

技術・研究開発の強化

新たな価値創造につながるビジネスモデルを確立し、成長戦略を加速

コア技術の深化



カスタマイズに適した機種開発



工程集約への対応

事業ポートフォリオ見直し

成長性と収益性の2軸で経営資源を最適化

成長・拡大

IT関連製造装置事業

縮小・撤退

自動車部品加工事業

2025年3月

策定初年度

理解度チェックテストの実施

策定2年目 今期の重点施策

バリュー行動の明文化



3. 受注、売上、営業利益の拡大に向けて

■ 販売と生産それぞれの取り組みを確実に実施し、好循環を生み出す

【販売における取り組み】

- 地域ごとのニーズや優位性を生かす
- 現地代理店等との連携拡大
- 営業支援体制の強化
- 周辺装置等を含めた提案営業
- 「当社ならではの」付加価値を提案



【生産における取り組み】

- 調達先との連携を強化
- 製造工程での人員・技能・組織体制の強化
- 製造原価の低減
- 顧客満足度の向上

受注、売上、営業利益の拡大を実現！

4.株主還元の充実化

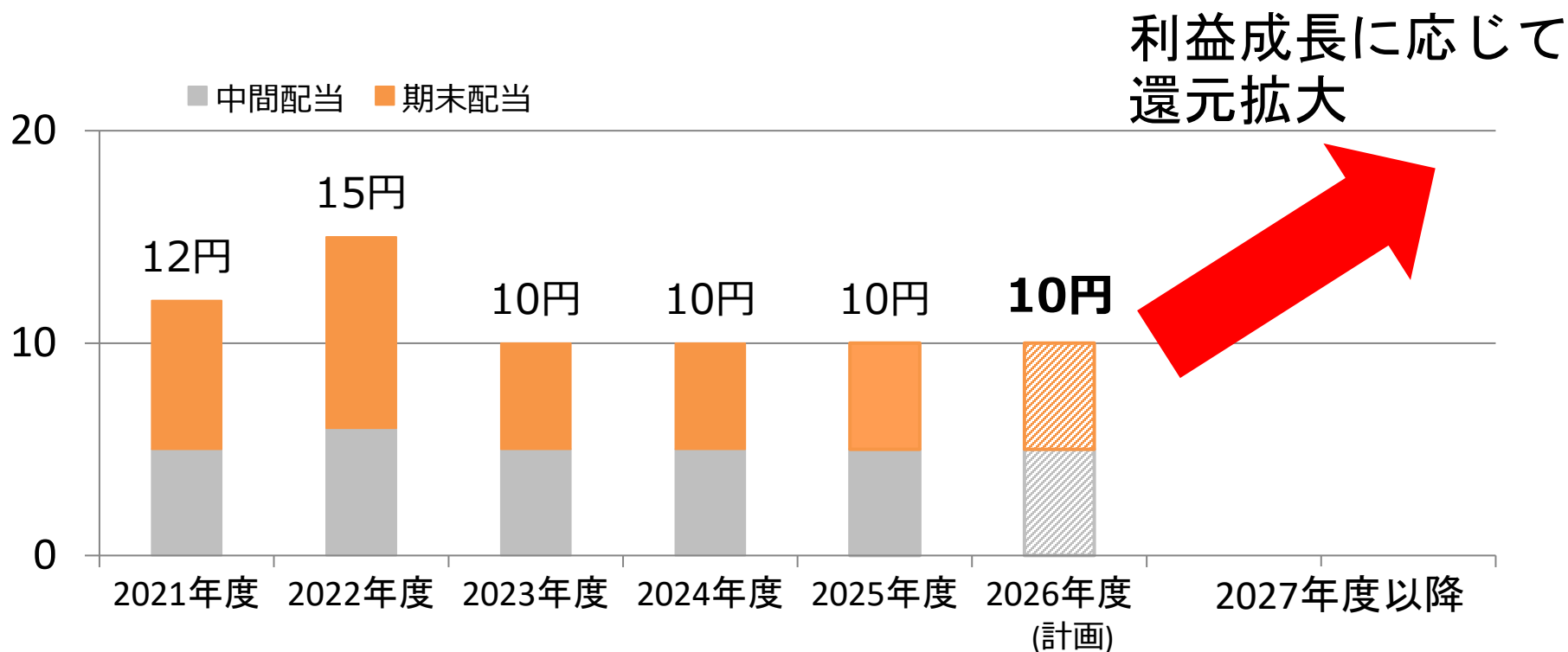
安定配当と利益成長に応じた還元拡大の両立

安定配当

年間10円の下限を維持

成長還元

配当性向40%を目安



5. E S Gの実現に向けて

※一部をご紹介します



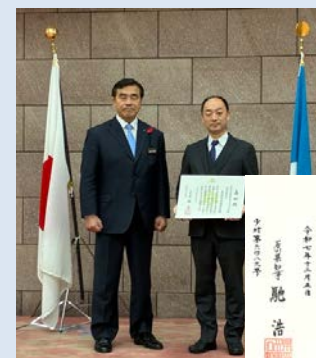
再生可能エネルギーの積極活用



地域の学生に対する教育活動



社員の働きやすさ実現に向けて



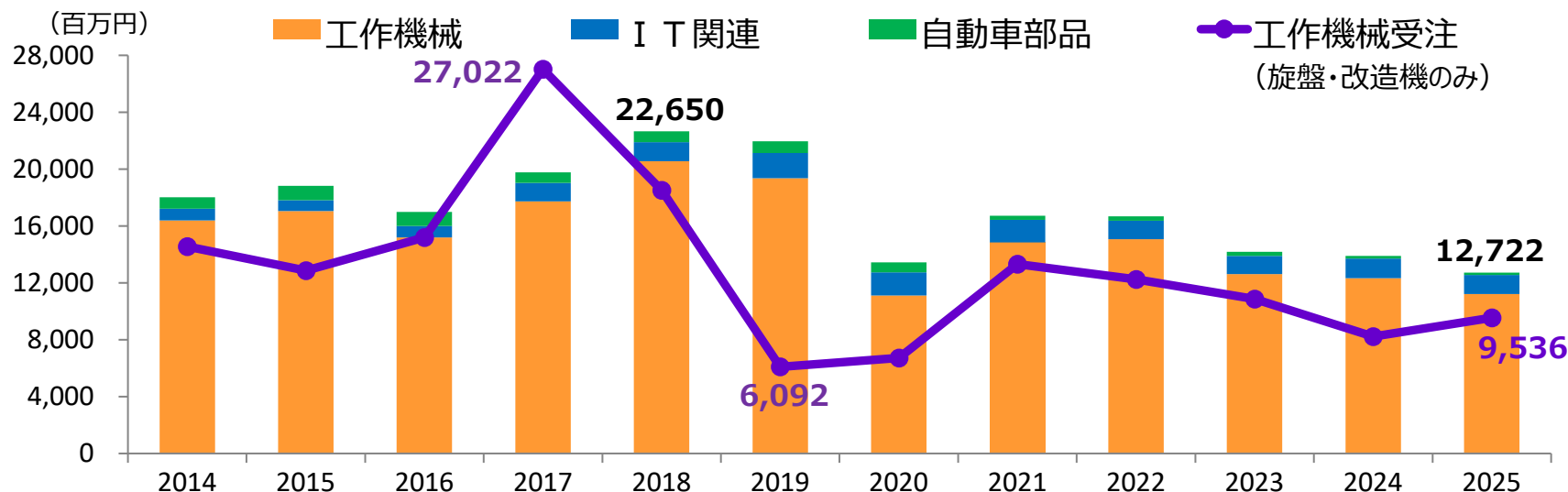
詳しくは右のQRコード、または下のURLにアクセスし、ご確認ください
<https://www.takamaz.co.jp/sustainability/>



(参考資料)

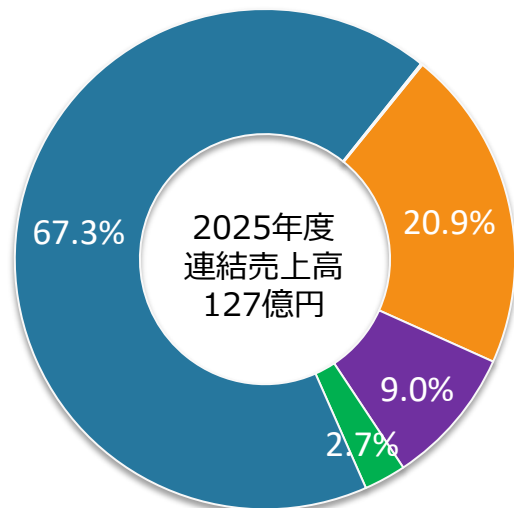
(参考) 連結売上高・競合状況

● 連結売上高・工作機械受注高の推移



● 仕向地別連結売上高

アジア 北米 ヨーロッパ 日本



● 業界シェア

売上 ※2025年度実績	
工作機械業界全体 シェア 0.6% 業界…1兆7,042億円 当社…112億円	旋盤のみ シェア 1.7% 業界…5,710億円 当社…95億円
(参考) 生産台数 ※2025年度実績	
工作機械業界全体 シェア 1.0% 業界…51,730台 当社…513台	旋盤のみ シェア 5.1% 業界…10,022台 当社…513台

(参考) 2026年度計画

(単位：百万円)

	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度予想		2026年度 第1四半期 実績
			見込み	対前期比	
受注高	11,912	13,293	14,000	+5.3%	4,354
受注残高	4,922	5,661	—	—	6,640
売上高	13,893	12,722	14,804	+16.4%	3,413
工作機械事業	12,327	11,215	13,252	+18.2%	2,775
I T 関連製造装置事業	1,383	1,338	1,410	+5.3%	600
自動車部品加工事業	182	168	142	△15.9%	38
営業利益	△160	△64	151	—	43
営業利益率	△1.2%	△0.5%	1.0%	—	1.3%
経常利益	△103	△70	179	—	68
親会社株主に帰属する当期純利益	△645	△164	133	—	44
1株当たり当期純利益（円）	△59.95	△15.29	12.37	—	4.17

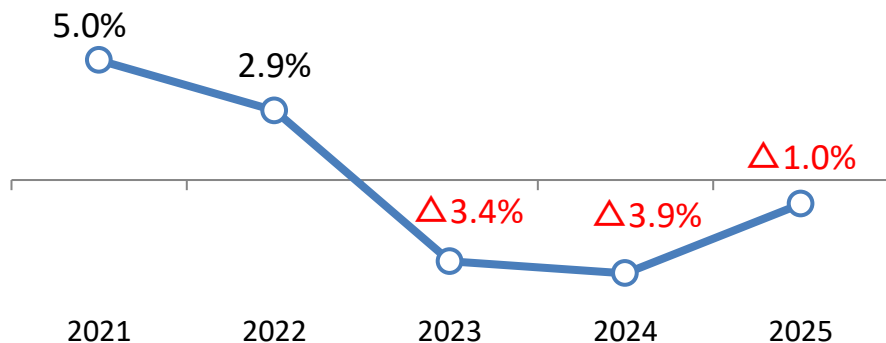
※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

- ✓ 工作機械業界全体では、2025年6月に単月の過去最高受注金額を記録するなど、高水準を維持している。**当社の受注高、受注残高においても、第1四半期より好調に推移している。**
- ✓ IT関連製造装置事業が、半導体製造装置関連の受注により第1四半期より大きく伸びている。
- ✓ 第1四半期実績において、当期純利益は4期ぶりに黒字となった。

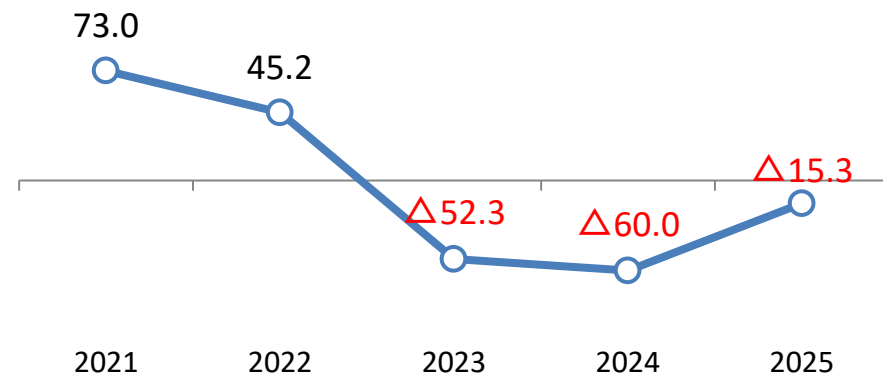


(参考) 各種指標

ROE

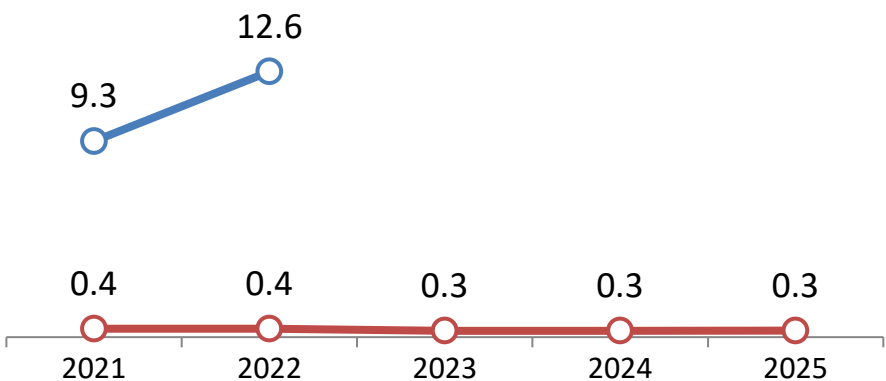


1株当たり当期純利益金額 (単位：円)



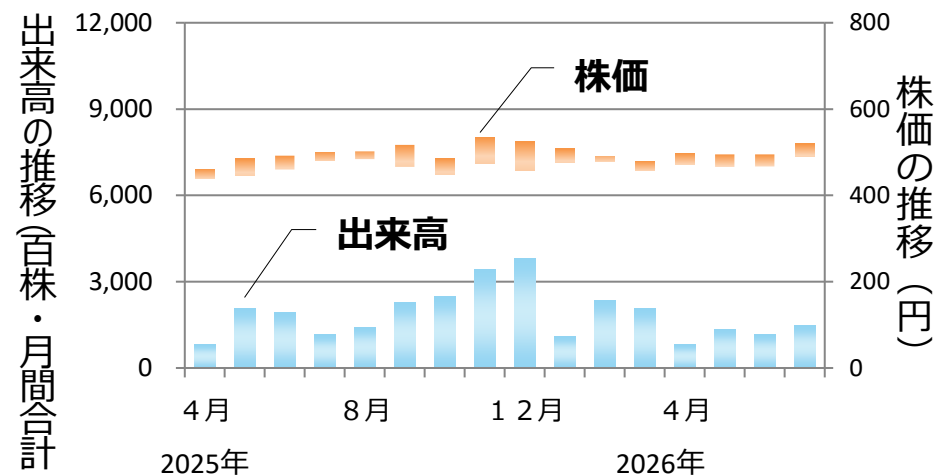
PBR、PER (単位：倍)

—○— PBR —○— PER



※ 2023年度、2024年度及び2025年度のPERは、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

株価、出来高



投資家・株主の皆様への情報発信

HP

TAKAMAZ

検索

<https://www.takamaz.co.jp/>

●トップページ



●株主・投資家情報ページ



刊行物



株主通信

決算説明会資料

2026年3月期
決算説明会

2026年4月3日
高松機械工業株式会社(証券コード: 6155)
TAKAMAZ

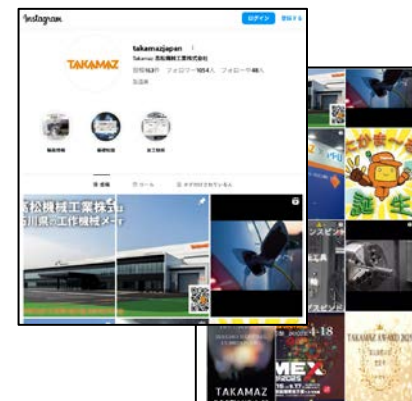


サステナビリティ レポート

ORANGE NEWS



SNS





TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

